

【PRESS RELEASE】

報道関係者各位

平成27年6月1日

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟

一般社団法人 日本CATV技術協会

第27回 ケーブルテレビ功労者表彰の受賞者決定について

ケーブルテレビ関係2団体（一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟及び一般社団法人 日本CATV技術協会）では、平成元年の「ケーブルテレビの日」（毎年6月16日）の創設を記念して、ケーブルテレビの普及・発展に努め、その功績が顕著な方（個人又は団体）に対し、功労者表彰を行っています。

今回、第27回目の功労賞について、さる4月22日（水）に、総務省様及び両団体の理事長による選考委員会が開催され被表彰者の推薦がなされ、各団体で審議の結果、添付資料のとおり、個人4名を表彰することに決定しました。

贈賞式は、「ケーブルコンベンション2015」（6月10日（水）～11日（木）、東京国際フォーラムで開催）の関連行事として、下記により、執り行われます。

記

＜「第27回 ケーブルテレビ功労者表彰」贈賞式の開催概要＞

- 日時 平成27年6月10日（水）10：30～11：00
- 場所 東京国際フォーラム ホールB5
- 添付資料 資料Ⅰ 「第27回ケーブルテレビ功労者表彰」の受賞者一覧
資料Ⅱ 「第27回ケーブルテレビ功労者表彰」受賞者の功績概要

以上

～本件に関するお問合せは下記までお願いいたします～

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟

多田 TEL : 03-3566-8200

一般社団法人 日本CATV技術協会

波多野 TEL : 03-5273-4671

「第27回ケーブルテレビ功労者表彰」の受賞者一覧
(連盟 2名、技協 2名 計 4名)

1 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟関係

- ・ 森 修一 (株)ジュピターテレコム 代表取締役会長
(一社) 日本ケーブルテレビ連盟 副理事長
- ・ 藤原 吉彦 (一社) 日本ケーブルテレビ連盟 理事

2 一般社団法人日本CATV技術協会関係

- ・ 伊東 晋 東京理科大学 理工学部 電気電子情報工学科 教授
- ・ 北川 和雄 (一社) 日本CATV技術協会 理事

「第27回ケーブルテレビ功労者表彰」受賞者の功績概要

(連盟 2名、技協 2名 計 4名)

1 一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟関係

氏 名	もり しゅういち 森 修一 (66歳)	(株)ジュピターテレコム 代表取締役会長 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 副理事長
【功績概要】 東日本大震災直後の平成23年3月に株式会社ジュピターテレコム(J:COM)の社長に就任以来、地域密着の強みを生かした各種施策の投入と新型STBによるスマートテレビ化等により、ケーブルテレビ事業を総合的な「生活支援サービス事業」として新たな展開を図るとともに、平成26年4月には旧JCNとJ:COMの円滑な統合を行うなど社業の発展に尽力した。 また、「ケーブル業界の発展なくして、J:COMの発展なし」の理念の下、自社の社業のみならず、大型マンションでの「電力一括受電事業」の新規導入や、「ZAQ(ざっくう)」キャラクターのテレビCMを通じたケーブルテレビの認知度向上に加え、各種セミナーでの講師引き受け、ケーブルコンベンションや次世代リーダー育成塾への講師派遣など業界最大手企業として業界全体の発展に貢献した。 更に、2期4年に亘り連盟副理事長を務め、連盟の事業活動遂行の基盤を支えた。		
【略 歴】 昭和47年 4月 住友商事(株)入社、大阪機械部配属 平成 6年 2月 ドイツ住友商事(デュッセルドルフ駐在) 平成12年 4月 住友商事(株)理事 機電システム本部長 平成14年 4月 同社理事 経営企画部長 平成15年 4月 同社執行役員 経営企画部長 平成17年 4月 同社常務執行役員 欧州総支配人(ロンドン駐在) 平成19年 4年 同社専務執行役員 欧州総支配人(ロンドン駐在) 平成20年 6月 同社代表取締役専務執行役員 化学品・エレクトロニクス事業部門長 平成21年 6月 同社専務執行役員 関西ブロック長 平成23年 3月 (株)ジュピターテレコム代表取締役社長 平成23年 6月 (一社)日本ケーブルテレビ連盟 副理事長(現在に至る) 平成26年 1月 (株)ジュピターテレコム代表取締役会長(現在に至る)		

氏 名	ふじわら よしひこ 藤原 吉彦 (67歳)	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 理事
【功績概要】 平成22年3月から平成27年6月まで日本ケーブルテレビ連盟の理事を務め、長年に亘る放送行政の経験を生かし、総務省及び地方総合通信局とのパイプ役として尽力した。 また、日本ケーブルテレビ連盟では、「地域力」検討特別委員会の最終とりまとめに携わり、その後は、予算・税制・金融委員会、地中化・共架委員会及び放送関連特別委員会を担当した。特に、スカイツリー移転に伴うケーブルテレビへの影響対策に尽力するとともに、デジアナ変換サービス終了の取組みについては、総務省、NHK、民放連等関係団体と連携を図りながら、きめ細かい対策を立てるなどにより特段の混乱もなくデジタル移行に導いた。 一方、2020年の東京オリンピック・パラリンピック決定をきっかけに無電柱化の検討が急速に進められる中、CATV技術協会とともに積極的な取組みを展開しているなど、業界の発展に多大な貢献をした。		
【略 歴】 昭和43年 4月 郵政省北海道電波監理局採用 平成 3年 6月 郵政省有線放送課業務係長 平成12年 7月 郵政省中国電気通信監理局放送部長 平成15年 8月 総務省九州総合通信局放送部長 平成16年 7月 総務省情報通信政策局地上放送課受信対策室長 平成17年 9月 (社) 地上デジタル放送推進協会理事 平成20年 8月 (財) 全国地域情報化推進協会専務理事・事務局長 平成22年 3月 (社) 日本ケーブルテレビ連盟理事(非常勤) 平成24年10月 (一社) 日本ケーブルテレビ連盟理事(常勤)(現在に至る)		

2 一般社団法人 日本CATV技術協会関係

氏 名	伊東 晋 (62歳)	東京理科大学 理工学部 電気電子情報工学科 教授
【功績概要】 昭和 63(1988)年に当技術協会における「再送信専用型CATV施設のグレードアップモデルシステムに関する調査研究会」に参画。 ケーブルテレビのデジタル化に関する国の調査研究会や情報通信審議会（旧 電気通信技術審議会）において技術的条件の検討など、多くの委員会・調査研究会等に出席しCATV技術の確立やその普及に尽力した。これら技術的成果は、当技術協会のCATVに関する民間規格・標準化活動の基盤となっている。 また、平成 21(2009)年からは、当技術協会の「有線テレビジョン放送技術証明委員会」の委員長に就任、その後、新資格制度「CATV技術制度」の創設にも尽力され、現在「CATV技術資格認定委員会」の委員長として、全国約15,000名のCATV技術資格者の育成等、CATVの普及・発展に多大の貢献をした。		
【略 歴】 昭和 28 年 5 月生 昭和 51 年 3 月 東京大学工学部 卒業 昭和 53 年 3 月 東京大学大学院工学系研究科電子工学専門課程 修士課程修了 昭和 56 年 3 月 " 博士課程修了 東京大学より工学博士の学位授与 昭和 56 年 4 月 東京理科大学 理工学部 電気工学科 助手 昭和 62 年 4 月 " 助教授 平成 10 年 4 月 " 教授 平成 14 年 4 月 " 電気電子情報工学科 教授		

氏 名	きたがわ かずお 北川 和雄（65歳）	一般社団法人日本CATV技術協会・理事 元 住友電気工業株式会社・ブロードネットワークス 事業部・企画推進部 担当主幹
【功績概要】 平成8年度から、ケーブルテレコムやケーブルモデムなどの規格・標準化作業に参加するとともに、ケーブルテレビ施設のデジタル化に関するワーキングなどで専門的な知見で検討を推進し、デジタルケーブルテレビの普及に大きく寄与した。 平成12年には、ケーブルインターネット教科書作成委員会に参画し、CATV技術資料をとりまとめた。 平成21年からは、技術調査研究委員会の海外動向調査ワーキンググループ委員や、地上アナログ放送跡地利用に関する調査研究ワーキンググループ主査など歴任し、技術協会会員へ最新の技術提供を行った。 平成22年度からは、技術協会理事に就任し、資格・技術向上委員会の新資格制度推進ワーキンググループ主査として、新資格制度の設立に尽力するとともに、新資格制度用教科書の執筆・編集やCATV技術資格認定委員会委員、試験専門部会長を務めCATV技術者の育成に多大の貢献をした。		
【略 歴】 昭和25年 3月生 昭和47年 3月 東京大学工学部 卒業 昭和47年 5月 東京芝浦電気(株) 総合研究所入社 平成 9年 4月 (株)東芝 本社 平成11年 4月 (株)ブロードネットマックス 技術開発本部副本部長 平成15年 3月 // 技師長 平成26年10月 住友電気工業(株) ブロードネットワークス事業部 担当主幹 平成27年 3月 // 退職		